

専門家の支援で A S I A G A P 認証取得、 東京市場へ

生産技術・技能

販路拡大・販促



代表の小島氏

経営概要

株式会社ててかむ

◆代表者・所在地

小島 敬久 京都府亀岡市・京田辺市

◆設立

令和元年11月

◆経営規模

養液栽培施設（レタス、イチゴなど）
25a(亀岡ほ場)、50a(京田辺ほ場)

◆従業員数

正社員4名、パート・アルバイト10名

◆事業内容

京都府亀岡市と京田辺市の大型養液栽培施設でレタス、イチゴなどの生産に取り組む。

1 現状と相談までの経緯

小島氏は大学と大学院で養液栽培を学び、亀岡市で就農して8年目となり、市内に25aの養液栽培施設を建設し、イチゴとレタスの生産で売上げを伸ばしてきた。令和4年度には、50aの新施設を京田辺市内に建設し、更なる経営発展を考えていたところ、日常的に伴走支援を行う府の普及指導員から**農業経営・就農支援センター**を紹介された。

2 相談内容

新施設で生産するレタス(年60t)について、大手取引先の提案を受け、東京市場へ出荷することを計画していた。この遠隔地へへの出荷に関して、商品の魅力を高めるため、当該取引先と**A S I A G A P 認証の取得について検討**しており、必要な対応や手続きをどのように行えばよいか助言を受けたい。

3 支援内容

■ 支援チームによる支援計画の策定

農業経営・就農支援センター専属スタッフ(中小企業診断士)は、初回派遣で(株)ててかむの**経営診断**を行い、その結果を踏まえ、**支援チームを編成**し、支援計画を策定した。

■ 専門家派遣を通じた助言の実施

支援計画に基づき、東京市場へへの出荷に向けた G A P 取得については妥当な経営戦略と判断し、G A P 取得に関して支援した。

・A S I A G A P 取得の指導 (G A P 指導員)

センター登録専門家の G A P 指導員が、A S I A G A P における達成要件を説明した。

項目の達成に向けて普及指導センターが随時支援し、申請までの中間時点の2回目、申請直前の3回目の派遣で専門家(G A P 指導員)が達成状況を見極めて必要な助言を行った。

支援チーム構成員：

農業経営・就農支援センター専属スタッフ(中小企業診断士)、普及指導員、G A P 指導員、府農業会議職員

■ 支援を受けて・・・

令和4年3月にA S I A G A P 認証を取得した。従業員とともに生産の安全性と品質の確保を実践するとともに、A S I A G A P 認証を取引先及び消費者に向けてPRし、魅力ある商品づくりを達成した。

■ 今後の経営展開

生産・販売規模の拡大に伴う、適切な作業人員の分配や収益性の確保などの経営上の課題について対応していきたい。

そのため、普及指導センターによる伴走支援を受けながら、専門家にも相談して、具現化を進める。



支援チームによるG A P 項目の確認作業の様子



(株)ててかむが生産する「京れたす」

喜びの声

農業経営・就農支援センターの専門家派遣制度を活用し、無事にA S I A G A P 取得という課題を解決できました。普及指導センターの背後に農業経営・就農支援センターの登録専門家の皆さんが付いてくださることは頼もしいです。

専属スタッフ所感

高い栽培技術を持ち、就農8年で急成長、法人化も達成した経営体です。経営戦略についても自ら構築しておられ、東京進出の計画についても妥当なものと判断しました。急成長に伴う様々な課題については、今後も確認し、対応していく必要があるため、状況に応じて支援します。

〈支援機関〉 京都府農業経営・就農支援センター (京都農人材育成センター)

組織概要

■ 相談窓口

【経営相談】

住 所：京都府京都市上京区出水通油小路東入
京都府庁西別館3階 京都府農業会議
電話番号：075-417-6847
受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）
8：30～17：15

【就農相談】

住 所：京都府京都市南区東大条下殿田町70
京都テルサ西館3階
「京都ジョブパーク」内 農林水産業ジョブカフェ
電話番号：075-682-1800
受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）
9：00～12：00 13：00～16：00



「京都府農林水産業ジョブカフェ」での就農相談の様子

京都府農業を担う若者を育成・確保する総合窓口として、府と府内の農業関係団体によって設立され、各市町村の窓口とも連携しながら、新規就農段階から農業経営のトップ層まで、経営発展の様々なステージに合わせた支援を行っています。